



外国出張報告書

平成 26 年 6 月 11 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 25 年 6 月
3. 出張目的 サトウキビ近縁遺伝資源を利用した高バイオマス生産性作物の開発:B

4. 成果の概要

タイ国コンケンにある KKFCRC 圃場において、1) これまでに作出したサトウキビとエリアンサスの属間雑種 F1 系統の評価圃場、2) 属間雑種 BC1 系統の選抜圃場、3) 属間交配で作出した新規実生集団の選抜圃場の植え付けを実施した。また、マハサラカム農業開発研究センターで実施している灌水・無灌水試験圃場の生育データを取得し、2 年目の試験に向けた植え付けを実施した。出穂遅延に向けた電照試験では 6 月収穫区の収穫を実施し、電照処理を開始した。エリアンサス遺伝資源評価圃場にて草型の評価及び写真の撮影を実施した。昨年度の結果及び今年度の試験計画に関する検討会を実施した。



外国出張報告書

平成 25 年 10 月 15 日

1. 出張国名 タイ
2. 出張月 平成 25 年 9 月
3. 出張目的 圃場調査、研究打ち合わせ等：B

4. 成果の概要

タイ国コンケンにある KKFCRC タプラ圃場にて、エリアンサス遺伝資源の調査基準作成に向けた形態特性の写真撮影等を実施した。出穂遅延に向けた電照処理試験について 9 月時点での生育および花芽分化程度の評価データを取得した。出穂促進に向けた日長処理試験では、12 月～1 月に出穂するエリアンサスに対する出穂促進処理の効果が大きいことを確認した。6 月に植え付けを実施した属間雑種の特性評価圃場およびマハサラカムに設置した灌水・無灌水試験圃場、マルチサイト圃場の試験実施状況を視察し、順調に試験材料が生育していることを確認した。総合防除プロジェクトのワークショップに参加し、熱帯作物開発プロジェクトのサウキビ課題について紹介を行った。現地共同研究者と 10 月以降の作業に関する研究打ち合わせを実施した。



外国出張報告書

平成 26 年 6 月 6 日

1. 出張国名 ガーナ、カメルーン
2. 出張月 平成 25 年 10～12 月
3. 出張目的 1) アフリカ連絡拠点業務、研究情報収集、プロジェクト調整、関係諸機関との調整及びアフリカ稲会議出席 :D
 2) 低コスト水利施設の開発(被覆植物を活用した補強対策に係る試験) : B

4. 成果の概要

アフリカ連絡拠点においては、ガーナ国内にある国際機関等への表敬訪問や打合せを通じて、また国際会議への参加と意見交換等によってアフリカ農業研究に関する情報の入手に努めた。特にカメルーン国で開催された第 3 回アフリカ稲会議では、JIRCAS が取り組んでいる研究内容の紹介と会議主題に即した情報を収集した。低コスト水利施設プロについては、試験サイトにおいて土壌表面硬度を重点的に測定すると共に、植生管理試験に関するポット試験の一部開始と除草剤試験区の事前試験を行った。



外国出張報告書

平成 26 年 6 月 6 日

1. 出張国名 モンゴル
2. 出張月 平成 26 年 2～3 月
3. 出張目的 現地ワークショップ及び調整委員会の出席ならびにモンゴルの野草中のアルカン含量の分析：A
4. 成果の概要
 - 現地ワークショップに参加し、担当課題である、季節別・草地区別の採食量の研究成果の中間報告を行うとともに、第 3 回調整委員会に出席し、プロジェクトの進捗状況についてモンゴル側と意見交換した。
 - 野草中のアルカン含量を分析するとともに、分析方手順を再検討した。



外国出張報告書

平成 26 年 3 月 27 日

1. 出張国名 ベトナム
2. 出張月 平成 26 年 3 月
3. 出張目的 ダイクシステムがフローレジュームに与える影響の水理モデルに係る打ち合せ：A

4. 成果の概要

ホーチミンの南部水資源研究所（SIWRR）に業務委託した「メコンデルタ洪水常襲地域のフルダイクシステムが流況に与える影響の評価」について成果物を受け取り、業務完了処理を行った。本業務委託ではカンボジア国境に近い洪水常襲地域のアンジャン省とドンタップ省で進展している稲の 3 期作化を目的とするフルダイクシステム（輪中）がメコンデルタの流況や洪水氾濫域に与える影響を水文水理モデルの適用により評価を行うもので、洪水規模、フルダイクの比率、海面上昇の程度の 3 条件に基づく 36 種類のシナリオを設定し、数値計算を行った。